



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

第7回
〈樹木②〉

「森の樹木の特徴と剪定方法を学ぼう②(落葉樹・果樹編)」

日時：令和6年11月9日(土) 9:30～12:30

場所：羽沢けやき憩いの森(羽沢3-30)



ねりまの森維持管理コースとは？

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

憩いの森にある低木の管理や剪定の意義、安全管理のポイントの講義を受けたあと、オオムラサキやクワ、ビワ等の剪定や枝抜き、ダイミョウチクの伐採、実生木の伐採等の実習を行いました。



実習前



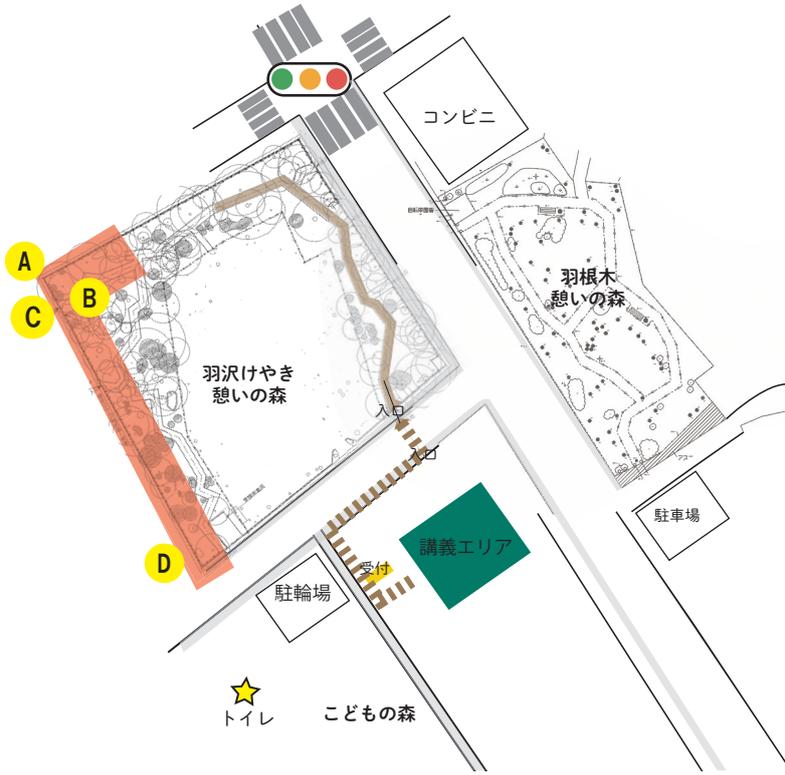
実習後



実習前



実習後



実習前



実習後



実習前



実習後



講義の様子



実習地の確認

安全管理のポイント「声かけ・事故防止」

憩いの森の剪定等の作業の際は、声かけを忘れず行いましょう。今回の講座では、道路へ越境している樹木の剪定や伐採をし、歩行者や車の、通行の妨げや視界の悪さを解消しました。このように、憩いの森の中だけでなく、周辺道路での作業を行う場合があります。剪定等の作業中は、夢中になると周りが見えなくなりがちです。歩行者や車に気が付かないことのないよう、周囲に注意を払って、お互いに声をかけあいましょう。



安全は、仲間とのコミュニケーションや情報共有が大切です。また、公共の場である憩いの森等では、すぐ近くに一般の方々が通ります。道具は置きっぱなしにせず、適切な距離をとって作業をしましょう。作業していることが一目でわかるようにして、安全を確保してください。



今回のキーワード

憩いの森は、私たちの生活に非常に身近な存在であると感じます。柿や柑橘類等、実を楽しめる樹木があったり、ビワやサクラ等、染料に使えたり、どんぐり等の木の実は、季節を感じる部屋飾りや森の樹名板としても活用できます。団体メンバーで管理方針を話し、森全体を考えてみてください。花を残す場所、枝を多く残して日陰を確保する場所、見通しをよくする場所等、様々な意見が出るのではないのでしょうか。管理方針が決まったら、この樹木はどんな用途なのか、どんな目的なのか考えてみてください。枝の切る位置、花の向き、花芽の残し方、葉っぱの向き等、切り方が変わります。楽しみながら試してみましょ。緑を大切に関わりながら、憩いの森の管理をしてください。



(一社)練馬環境造園協会